

科 目	人間学Ⅰ	開講時期 履修方法	1 年前期 必修、人間の基礎
担当者	青木 玲・塚本真由美	授業形態 単位数	講義・演習 1単位
授業概要	「人間学」は、御命日勤行（または講演会）と座談で構成し、「本学の願い」、大学テーマ「私のままで輝ける」に触れることを通して人間を学ぶことを目的とする。 ・御命日勤行の主な内容は、勤行・仏教讃歌・感話・講話。 ・感話は学生・教職員が行い、講話は教科書をもとに教員が行う。テーマは「私のままで輝ける」。 ・座談は、御命日勤行での感話・講話または講演会を聞いて、自分自身が感じたこと、考えたことを少人数のクラスで語り合い、聞き合う。 本授業は基礎科目の学修成果(6)に対応する。		
到達目標	感話や講話または講演会を聞き、人間（私）について自分自身の考えを表現できるようになる。		
学修成果の 評価基準	「人間学」のルーブリックを用いて評価する。 「人間学」への取り組み姿勢（聞く、書く、語る）を受講態度の評価とする。		
	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習	
		予習・復習	
1.	4月16日3限目 授業概要	予習：「シラバス」を読む（30分） 復習：授業概要の内容を振り返る（30分）	
2.	4月16日4限目 座談	予習：「シラバス」を読む（30分） 復習：座談を振り返る（30分）	
3.	4月30日3限目 御命日勤行	予習：教科書を読む（30分） 復習：御命日勤行を振り返る（30分）	
4.	4月30日4限目 座談	予習：教科書を読む（30分） 復習：座談を振り返る（30分）	
5.	5月14日3限目 講演会	予習：教科書を読む（30分） 復習：御命日勤行を振り返る（30分）	
6.	5月14日4限目 座談	予習：教科書を読む（30分） 復習：座談を振り返る（30分）	
7.	5月21日3限目 御命日勤行	予習：教科書を読む（30分） 復習：御命日勤行を振り返る（30分）	
8.	5月21日4限目 座談	予習：教科書を読む（30分） 復習：座談を振り返る（30分）	
9.	6月18日3限目 御命日勤行	予習：教科書を読む（30分） 復習：講演会を振り返る（30分）	
10.	6月18日4限目 座談	予習：教科書を読む（30分） 復習：座談を振り返る（30分）	
11.	7月16日3限目 御命日勤行	予習：教科書を読む（30分） 復習：御命日勤行を振り返る（30分）	
12.	7月16日4限目 座談	予習：教科書を読む（30分） 復習：座談を振り返る（30分）	
13.			
14.			
15.			
教科書	『釈尊 生涯と教え』（東本願寺出版）・「人間学ノート」		
参考書			
学修成果の 評価方法	受講態度（20%）、人間学ノート」提出（80%）		
特記すべき 事 項			
質問・相談等 の 受 付			

科 目	人間学Ⅱ	開講時期 履修方法	1 年後期 必修、人間の基礎
担当者	青木 玲・塚本真由美	授業形態 単位数	講義・演習 1単位
授業概要	「人間学」は、御命日勤行（または講演会）と座談で構成し、「本学の願い」、大学テーマ「私のままで輝ける」に触れることを通して人間を学ぶことを目的とする。 ・御命日勤行の主な内容は、勤行・仏教讃歌・感話・講話。 ・感話は学生・教職員が行い、講話は教科書をもとに教員が行う。テーマは「私のままで輝ける」。 ・座談は、御命日勤行での感話・講話または講演会を聞いて、自分自身が感じたこと、考えたことを少人数のクラスで語り合い、聞き合う。 本授業は基礎科目の学修成果(6)に対応する。		
到達目標	感話や講話または講演会を聞き、人間（私）について自分自身の考えを表現できるようになる。		
学修成果の 評価基準	「人間学」のルーブリックを用いて評価する。 「人間学」への取り組み姿勢（聞く、書く、語る）を受講態度の評価とする。		
	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習 予習・復習	
1.	10月1日3限目 親鸞紙芝居	予習：教科書を読む（30分） 復習：講演会を振り返る（30分）	
2.	10月1日4限目 座談	予習：教科書を読む（30分） 復習：座談を振り返る（30分）	
3.	10月15日3限目 御命日勤行	予習：教科書を読む（30分） 復習：御命日勤行を振り返る（30分）	
4.	10月15日4限目 座談	予習：教科書を読む（30分） 復習：座談を振り返る（30分）	
5.	11月5日3限目 御命日勤行	予習：教科書を読む（30分） 復習：御命日勤行を振り返る（30分）	
6.	11月5日4限目 座談	予習：教科書を読む（30分） 復習：座談を振り返る（30分）	
7.	11月25日4限目 真宗大谷派学校連合会合同報恩講	予習：教科書を読む（30分） 復習：報恩講を振り返る（30分）	
8.	12月3日3限目 報恩講	予習：教科書を読む（30分） 復習：座談を振り返る（30分）	
9.	12月3日4限目 座談	予習：講演会を読む（30分） 復習：講演会を振り返る（30分）	
10.	12月17日3限目 座談	予習：教科書を読む（30分） 復習：座談を振り返る（30分）	
11.	1月14日3限目 御命日勤行	予習：教科書を読む（30分） 復習：御命日勤行を振り返る（30分）	
12.	1月14日4限目 座談	予習：教科書を読む（30分） 復習：座談を振り返る（30分）	
13.			
14.			
15.			
教科書	『親鸞 生涯と教え』（東本願寺出版）・「人間学ノート」		
参考書			
学修成果の 評価方法	受講態度（20%）、人間学ノート」提出（80%）		
特記すべき 事項			
質問・相談等 の 受 付			

科 目	人権論（仏教学科・表現学科）	開講時期 履修方法	1年前期 必修、人間の基礎
担当者	横田亮雄・ジェレノー治美、牛島修彦・組坂幸喜	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	人権の概念や確立の歴史について学び理解する。部落差別をはじめとする現代社会に渦巻く様々な人権問題について学び、人権の必要性を理解し、人権尊重及び人権を擁護する態度を育成する。 本授業は基礎科目の学修成果(6)に対応する。		
到達目標	「人としての生き方」という視点から、人権の概念や様々な人権問題についての科学的認識と感性を深めるとともに、人権確立社会を目指す意思や実践力を身につける。		
学修成果の 評価基準	人権の概念について科学的認識に基づく理解を持ち、実生活において社会全般の人権問題の解決を図る。（知識・態度） 社会の多様性を尊重し、地域社会で豊かに暮らせる技能とともに、啓発活動の実践力を身につける。（技能・表現力）		
	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）		授業時間外学習 予習・復習
1.	オリエンテーション・人権課題の学習計画と方法について		予習：シラバスを読んでおく 復習：受講態度を確認し、次時の課題について調べる
2.	「人権」の基礎的歴史と用語の定義について		予習：身の回りの差別や偏見（人権問題）について調べる 復習：社会の人権問題をまとめる
3.	日本国憲法と「人権」の関係についてについて		予習：日本国憲法を読み通す 復習：人権にかかわる条文をまとめる
4.	様々な人権問題（差別事象の実態）について		予習：社会の人権問題を調べる 復習：身近な人権問題をレポートする
5.	国内の人権課題（部落問題）の差別事象と現状について 1		予習：害者差別解消法について調べる 復習：障害者の抱える課題を整理する
6.	前時講義内容についての考究 1		予習：「賤称廃止令」のについて調べる 復習：部落差別の課題をまとめる
7.	国内の人権課題（ハンセン病問題）の差別事象と現状について 2		予習：病気などによる差別を調べる。 復習：ハンセン病療養所の現状と課題について確認する（
8.	国内の人権課題（水俣病問題）の差別事象と現状について 3		予習：水俣病について調べる 復習：感染症の共通点を整理し、レポートする
9.	国内の人権問題（性の多様性と女性の人権）の差別事象と現状について 4		予習：LGBTQについて調べる 復習：性の多様性に関する課題をまとめる
10.	国内の人権問題（障害者問題）の差別事象と現状について 5		予習：身近なバリアフリーの現状を調べる 復習：インクルーシブについてまとめる
11.	インターネットなどでの人権問題について		予習：ネット上の人権侵害を調べる 復習：SNS等発信の際の注意点やの態度をまとめる
12.	子どもの人権問題と課題について		予習：出生前検査について調べる 復習：家族の人権についての自身の考えをまとめる
13.	グローバルな視点での人権問題（外国人の人権）について		予習：世界の人権侵害の状況について調べる 復習：戦争や紛争などとの関連をレポートする
14.	人権確立に向けたスキルアップ（ケーススタディー）		予習：差別を許さない行動を考える 復習：差別をなくすための具体的な行動をまとめる
15.	人権課題についての発表と交流		予習：受講後の気づきをレポートする 復習：人権を説明する方法や手段をまとめる
教科書	人権教育・啓発に関する様々な書籍・資料（映像や音声を含む）・報告書 等		
参考書	日本国憲法、人権教育及び人権啓発の推進に関する法律、障害者差別解消推進法、ヘイトスピーチ解消法、部落差別解消推進法等		
学修成果の 評価方法	受講態度（50%）、授業内課題（15%）、授業内発表（15%）、予復習課題（10%）、授業内試験（10%）		
特記すべき 事項	予習・復習ともに2時間を要する程度の課題を提示する。またレポートについては2時間程度を要するものとする。 担当者は、中学校において22年間教師の経験あり、真宗大谷派九州教区解放運動推進協議会会長を務めている。		
質問・相談等 の 受 付	講義中、随時質問を受け、その都度回答する。講義後の質問については、次時に文書で回答する。相談については、講義後に対応する。講義外の日でも相談があれば、学生支援課を通じて対応する。		

科 目	人権論（幼児教育学科）	開講時期 履修方法	1 年前期 必修、人間の基礎
担当者	牛島修彦・松本 慈・高田美穂	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	・部落差別をはじめとするあらゆる人権問題の基本的な概念について学び理解する。 ・身の回りにある偏見や差別について振り返り、差別をなくす当事者としての認識を深める。 本授業は基礎科目の学修成果(6)に対応する。		
到達目標	・部落差別をはじめとするあらゆる差別について科学的認識を深め、差別のない人権が大切にされる社会をめざす当事者としての意志と実践力を養う。		
学修成果の 評価基準	・表現力（豊かな感性を身につけ、表現することができる。） ・判断力（社会における人権課題を知り、課題解決を図る） ・知識・技能（あらゆる子どもの生活を知り、支援のあり方を理解する。） ・多様性（様々なルーツを持つ子どもの自由な表現を受け止める感性を磨く。） ・協働性（あらゆる子どもが地域で生き生きと暮らせる力を身につけるたに支援する。）		
	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習	
		予習・復習	
1.	オリエンテーション（身の回りの気になる人権課題について考える）	予習：シラバスを読む 復習：社会における人権課題を振り返る	
2.	身の回りの差別や偏見について考える	予習：身近な人権課題について考える 復習：人権課題について自分ごととして考える	
3.	部落問題について考える	予習：部落差別解消推進法を読む 復習：自分と被差別部落との出会いについて振り返る	
4.	部落問題について考える	予習：部落問題について振り返る 復習：感想の共有	
5.	インターネット上の人権課題について考える	予習：ネット上での人権侵害について調べる 復習：ネット上の人権侵害を振り返る	
6.	女性の人権について考える	予習：男女雇用機会均等法を読む 復習：女性についての偏見や差別について振り返る	
7.	格差社会における子どもの人権について考える	予習：子どもの権利条約を読む 復習：児童虐待の実態について振り返る	
8.	障害者に対する差別や偏見について考える	予習：障害者差別解消法を読む 復習：障がい児者を取り巻く環境について振り返る	
9.	優生思想について考える	予習：優生思想について調べる 復習：優生思想について自分ごととして考える	
10.	水俣病について考える	予習：水俣病について調べる 復習：水俣病について振り返る	
11.	ハンセン病について考える	予習：ハンセン病の歴史を調べる 復習：ハンセン病を振り返る	
12.	在日韓国朝鮮人に対する偏見や差別について考える	予習：在日朝鮮韓国人の歴史について調べる 復習：在日問題を自分ごとにする	
13.	在日外国人に対する偏見や差別について考える。	予習：ヘイトスピーチ解消法を読む 復習：在日外国人に対する偏見や差別について振り返る	
14.	LGBTQ等、性の多様性について考える。	予習：LGBTQについて調べる 復習：LGBTQと自分について振り返る	
15.	個人発表。	予習：人権課題についてまとめる 復習：個人発表をする	
教科書	特になし		
参考書	人権教育・啓発に関する書籍。部落問題に関する書籍。保育に関する書籍。		
学修成果の 評価方法	受講態度（30%）、講義内発表（10%）、講義内課題（10%）、定期試験（50%）		
特記すべき 事項	予習・復習ともに2時間を要する程度の課題を提示する。		
質問・相談等 の 受 付	特になし		

科 目	仏教の歴史と文化	開講時期 履修方法	1年・2年後期集中 選択、人間の基礎
担当者	青木玲	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	8月27日（水）～9月3日（水）の日程で、仏教誕生の地インドを訪ねる。ブッダ釈尊の足跡（成道の地ブッダガヤ・初転法輪の地サルナート・入滅の地クシナガラなど）を通して、仏教の歴史と文化を学ぶ。 本授業は基礎科目の学習成果(7)に対応する。		
到達目標	インド研修に参加し、釈尊の生涯と教えを理解することができる。		
学修成果の 評価基準	インド研修への積極的な参加を「受講態度」の評価、研修後の感想レポート提出を「レポート」の評価とする。		
	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習	
		予習・復習	
1.	事前学習	予習：教科書を読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）	
2.	ブッダガヤ研修① 大塔、金剛宝座参拝	予習：教科書を読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）	
3.	ブッダガヤ研修② スジャータの村訪問、前正覚山の留影窟参拝	予習：教科書を読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）	
4.	ラージギル研修① 霊鷲山参拝	予習：教科書を読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）	
5.	ラージギル研修② 南門、竹林精舎など見学	予習：教科書を読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）	
6.	ヴァイシャリ研修① ヴァイシャリ参拝（1）	予習：教科書を読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）	
7.	ヴァイシャリ研修② ヴァイシャリ参拝（2）	予習：教科書を読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）	
8.	クシナガラ研修① 涅槃堂参拝	予習：教科書を読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）	
9.	クシナガラ研修② ラーマバール参拝	予習：教科書を読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）	
10.	ヴァラナシー研修① ガンジス川沐浴見学	予習：教科書を読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）	
11.	ヴァラナシー研修② マハラジャ宮殿など見学	予習：教科書を読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）	
12.	サルナート研修① ダメーク・ストウパ参拝	予習：教科書を読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）	
13.	サルナート研修② 考古学博物館など見学	予習：教科書を読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）	
14.	事後学習	予習：教科書を読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）	
15.	レポート作成	予習：教科書を読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）	
教科書	『釈尊 生涯と教え』		
参考書			
学修成果の 評価方法	受講態度（70%）レポート（30%）		
特記すべき 事項	インド研修に参加する場合は、別途、研修費用がかかります。		
質問・相談等 の 受 付			

科 目	親鸞入門Ⅱ	開講時期 履修方法	2 年後期集中 選択、人間の基礎
担当者	中島 航	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	11月27日（月）～29日（水）の2泊3日の日程で、京都東本願寺の報恩講に奉仕団として参拝する。東本願寺の同朋会館に宿泊し、法要参拝・講義・座談などを行うことによって、親鸞の生涯と教えを学ぶ。 本授業は基礎科目の学修成果(7)に対応する。		
到達目標	報恩講奉仕団に参加し、親鸞の生涯と教えが理解できるようになる。		
学修成果の 評価基準	報恩講奉仕団への積極的な参加を「受講態度」の評価、奉仕団参加後の感想レポート提出を「レポート」の評価とする。		
	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）		授業時間外学習 予習・復習
1.	授業概要	予習：シラバスを読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）	
2.	11/27（月） オリエンテーション	予習：教科書を読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）	
3.	講義	予習：教科書を読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）	
4.	座談	予習：教科書を読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）	
5.	11/28（火） 晨朝勤行参拝	予習：教科書を読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）	
6.	法要参拝①	予習：教科書を読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）	
7.	法要参拝②	予習：教科書を読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）	
8.	清掃奉仕	予習：教科書を読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）	
9.	夕事勤行参拝	予習：教科書を読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）	
10.	講義	予習：教科書を読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）	
11.	座談	予習：教科書を読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）	
12.	11/29（水） 晨朝勤行参拝	予習：教科書を読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）	
13.	諸殿拝観	予習：教科書を読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）	
14.	座談	予習：教科書を読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）	
15.	レポート作成	予習：教科書を読む（30分） 復習：授業を振り返り、疑問点を確認する（30分）	
教科書	『親鸞 生涯と教え』		
参考書			
学修成果の 評価方法	受講態度（70%）、レポート（30%）		
特記すべき 事項			
質問・相談等 の 受 付			

科 目	キャリアデザインⅠ	開講時期 履修方法	1年前期 必修、社会の基礎
担当者	梅野智美	授業形態 単位数	講義 1単位
授業概要	自分の「キャリアデザイン像」を構築できる。過去の経験を振り返り、これからの大学生として学んでいくことを考える。今後の進路について多方面からの話を聴く。自己分析し自分理解を通し、職業の適性を分析する。 本授業は基礎科目の学修成果(3)に対応する。		
到達目標	毎授業冒頭に、社説等を視写し書く力を修得する。 毎授業の理解度を図るため、振り返りを書き評価対象とする。		
学修成果の 評価基準	到達目標に明示している書く力や振り返りのレポートを書き、将来について考え構築できるなどを評価とする。		
	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習 予習・復習	
1.	キャリアデザインとは何か、なぜ必要なのか。マイロードマップの説明、「マイロードマップⅠ」の作成。時間管理、学問修得の取組	予習：キャリアデザインとは（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
2.	メンタルヘルス・ストレスコントロール	予習：メンタルヘルスについて（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
3.	レポートの書き方	予習：レポートの書き方について（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
4.	消費者教育	予習：消費者教育について（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
5.	適正検査	予習：今後の進路について（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
6.	就職に生きるコミュニケーション	予習：コミュニケーションについて（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
7.	卒業生の話・進学	予習：就職・進学について（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
8.	マイロードマップの説明、「マイロードマップの入力」	予習：就職活動について（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
9.			
10.			
11.			
12.			
13.			
14.			
15.			
教科書			
参考書			
学修成果の 評価方法	受講振り返り（48％）、授業態度（20％）、その他【課題レポート】（32％）		
特記すべき 事項	学生の主体的な参加が求められる講義。講師紹介と講義のお礼の言葉は学生が担当する。		
質問・相談等 の 受 付	質問、相談については、授業前後に授業場所にて受け付ける。		

科 目	おおたにの学び（地域連携＜いろいろな人と繋がろう＞）	開講時期 履修方法	1 年前期 必修、生活の基礎
担当者	森永牧子	授業形態 単位数	講義 1単位
授業概要	本学独自の学びを設定し、学科の専門領域を超えて幅広く知識・技術を学ぶ。また、学んだ内容を実践、発表することで社会を生きる自信を身に付ける。 本授業は基礎科目の学修成果(3)に対応する。		
到達目標	各コースの学びに触れ、実践することで基本的な知識技能を身に付け、表現することができる。		
学修成果の 評価基準	「おおたにの学び」理解と表現ルーブリック、レポートルーブリックを用いて評価する。		
	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習	
		予習・復習	
1.	地域ってなあに？	予習：学習する内容を下調べする(30分) 復習：学習した内容を振り返る(30分)	
2.	チクロス探検・大和公民館	予習：学習する内容を下調べする(30分) 復習：学習した内容を振り返る(30分)	
3.	地域の方と話してみよう（蔵数地域サロン）	予習：学習する内容を下調べする(30分) 復習：学習した内容を振り返る(30分)	
4.	地域の方と話してみよう（蔵数地域サロン）	予習：学習する内容を下調べする(30分) 復習：学習した内容を振り返る(30分)	
5.	地域の方と楽しく過ごす（長浜校区）	予習：学習する内容を下調べする(30分) 復習：学習した内容を振り返る(30分)	
6.	地域の方と楽しく過ごす（長浜校区）	予習：学習する内容を下調べする(30分) 復習：学習した内容を振り返る(30分)	
7.	私たちの学びを地域で活かすために（みん図書）	予習：学習する内容を下調べする(30分) 復習：学習した内容を振り返る(30分)	
8.	私たちの学びを地域で活かすために（みん図書）	予習：学習する内容を下調べする(30分) 復習：学習した内容を振り返る(30分)	
9.			
10.			
11.			
12.			
13.			
14.			
15.			
教科書	なし		
参考書			
学修成果の 評価方法	理解と表現（50％）、レポート（50％）		
特記すべき 事項	地域の方と楽しく過ごすなかで、自分のこと、地域のことを好きになって下さい。		
質問・相談等 の 受 付	質問、相談については、授業後に授業場所もしくは研究室にて受け付ける。		

科 目	おおたにの学び（地域連携＜子どもの居場所づくり＞）	開講時期 履修方法	1 年前期 必修、生活の基礎
担当者	河村陽子	授業形態 単位数	講義 1単位
授業概要	本学独自の学びを設定し、学科の専門領域を超えて幅広く知識・技術を学ぶ。また、学んだ内容を実践、発表することで社会を生きる自信を身に付ける。 本授業は基礎科目の学修成果(3)に対応する。		
到達目標	各コースの学びに触れ、実践することで基本的な知識技能を身に付け、表現することができる。		
学修成果の 評価基準	「おおたにの学び」理解と表現ルーブリック、レポートルーブリックを用いて評価する。		
	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習	
		予習・復習	
1.	不登校の子どもについて知る	予習：学習する内容を下調べする(30分) 復習：学習した内容を振り返る(30分)	
2.	子どもの居場所を企画する	予習：学習する内容を下調べする(30分) 復習：学習した内容を振り返る(30分)	
3.	5月の子どもの居場所をやってみよう	予習：学習する内容を下調べする(30分) 復習：学習した内容を振り返る(30分)	
4.	5月の子どもの居場所をやってみよう	予習：学習する内容を下調べする(30分) 復習：学習した内容を振り返る(30分)	
5.	6月の子どもの居場所をやってみよう	予習：学習する内容を下調べする(30分) 復習：学習した内容を振り返る(30分)	
6.	6月の子どもの居場所をやってみよう	予習：学習する内容を下調べする(30分) 復習：学習した内容を振り返る(30分)	
7.	7月の子どもの居場所をやってみよう	予習：学習する内容を下調べする(30分) 復習：学習した内容を振り返る(30分)	
8.	7月の子どもの居場所をやってみよう	予習：学習する内容を下調べする(30分) 復習：学習した内容を振り返る(30分)	
9.			
10.			
11.			
12.			
13.			
14.			
15.			
教科書	なし		
参考書			
学修成果の 評価方法	理解と表現（50％）、レポート（50％）		
特記すべき 事項	子どもたちと楽しく過ごすなかで、自分のこと、地域のことを好きになって下さい。		
質問・相談等 の 受 付			

科 目	おおたにの学び（仏教）	開講時期 履修方法	1 年前期 必修、生活の基礎
担当者	青木 玲	授業形態 単位数	講義 1単位
授業概要	本学独自の学びを設定し、学科の専門領域を超えて幅広く知識・技術を学ぶ。また、学んだ内容を実践、発表することで社会を生きる自信を身に付ける。 本授業は基礎科目の学修成果(3)に対応する。		
到達目標	各コースの学びに触れ、実践することで基本的な知識技能を身に付け、表現することができる。		
学修成果の 評価基準	「おおたにの学び」理解と表現ルーブリック、レポートルーブリックを用いて評価する。		
	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習	
		予習・復習	
1.	念珠作りをしよう！	予習：学習する内容を下調べする (30分) 復習：学習した内容を振 り返る(30分)	
2.	念珠作りをしよう！	予習：学習する内容を下調べする (30分) 復習：学習した内容を振 り返る(30分)	
3.	お経を読んでみよう！	予習：学習する内容を下調べする (30分) 復習：学習した内容を振 り返る(30分)	
4.	お経を読んでみよう！	予習：学習する内容を下調べする (30分) 復習：学習した内容を振 り返る(30分)	
5.	写経をしてみよう！	予習：学習する内容を下調べする (30分) 復習：学習した内容を振 り返る(30分)	
6.	写経をしてみよう！	予習：学習する内容を下調べする (30分) 復習：学習した内容を振 り返る(30分)	
7.	法名を考えてみよう！	予習：学習する内容を下調べする (30分) 復習：学習した内容を振 り返る(30分)	
8.	法名を考えてみよう！	予習：学習する内容を下調べする (30分) 復習：学習した内容を振 り返る(30分)	
9.			
10.			
11.			
12.			
13.			
14.			
15.			
教科書	なし		
参考書			
学修成果の 評価方法	理解と表現（50％）、レポート（50％）		
特記すべき 事項			
質問・相談等 の 受 付			

科 目	おおたにの学び（ミュージカルSong&Dance）	開講時期 履修方法	1 年前期 必修、生活の基礎
担当者	増本 藍	授業形態 単位数	講義 1単位
授業概要	本学独自の学びを設定し、学科の専門領域を超えて幅広く知識・技術を学ぶ。また、学んだ内容を実践、発表することで社会を生きる自信を身に付ける。 本授業は基礎科目の学修成果(3)に対応する。		
到達目標	各コースの学びに触れ、実践することで基本的な知識技能を身に付け、表現することができる。		
学修成果の 評価基準	授業内課題において評価する 最終授業後レポートを提出すること		
	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）		授業時間外学習 予習・復習
1.	ガイダンス、ストレッチ、発声(スケール)		ストレッチ (予復習各30分)
2.	課題曲譜読み①		ストレッチ、課題曲 (予復習各30分)
3.	ストレッチ、発声(スケール、母音)課題曲譜読み②		ストレッチ、課題曲 (予復習各30分)
4.	課題曲(歌詞の内容を深める)振り写し、ステージング		ストレッチ、課題曲(歌唱、振付) (予復習各30分)
5.	課題曲(歌詞の内容を深めオーディエンスを意識して表現する)		ストレッチ、課題曲(歌唱、振付) (予復習各30分)
6.	課題曲振り写し、ステージング		ストレッチ、課題曲(歌唱、振付) (予復習各30分)
7.	課題曲(オーディエンスを意識してパフォーマンスする)		ストレッチ、課題曲(歌唱、振付) (予復習各30分)
8.	課題発表		ストレッチ、課題曲(歌唱、振付) (予復習各30分)
9.			
10.			
11.			
12.			
13.			
14.			
15.			
教科書			
参考書			
学修成果の 評価方法	受講態度(50%)、レポート(50%)		
特記すべき 事項	ジャズシューズ、スニーカー、動きやすい服装で受講すること		
質問・相談等 の 受 付	随時可		

科 目	おおたにの学び（絵本）	開講時期 履修方法	1 年前期 必修、生活の基礎
担当者	梅野智美	授業形態 単位数	講義 1単位
授業概要	年齢別による絵本の選書についてや絵本の読み聞かせ実演指導。パネルシアターや紙芝居の実演指導。学びを深めるために、小学校などを訪問し児童たちの前で実演を行う。 本授業は基礎科目の学修成果(3)に対応する。		
到達目標	絵本の読み聞かせ、パネルシアター、紙芝居などを人前で発表し表現する力を身につける。		
学修成果の 評価基準	「おおたにの学び」理解と表現ルーブリック、レポートルーブリックを用いて評価する。		
	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習 予習・復習	
1.	絵本についての概論	予習：絵本について考える（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
2.	絵本の読み聞かせについて実技指導など	予習：絵本を読む（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
3.	絵本の読み聞かせについて実演①	予習：読み聞かせの練習（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
4.	絵本の読み聞かせについて実演②	予習：読み聞かせの練習（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
5.	パネルシアター、紙芝居の実演指導を行う①	予習：パネルシアター等について（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
6.	小学校へ実演するためのプログラム作成	予習：小学校へ実演するためのプログラムを考える（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
7.	小学校などへ出向き実演する①	予習：実演の練習（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
8.	小学校などへ出向き実演する②	予習：実演の練習（30分） 復習：授業を振り返る（30分）	
9.			
10.			
11.			
12.			
13.			
14.			
15.			
教科書			
参考書			
学修成果の 評価方法	理解と表現（50％）、レポート（50％）		
特記すべき 事項	担当者は司書として17年の実務経験、絵本セラピストとしての実務経験を有しています。		
質問・相談等 の 受 付	質問、相談については、授業後に授業場所もしくは研究室にて受け付ける。		

科 目	おおたにの学び（遊び体験）	開講時期 履修方法	1 年前期 必修、生活の基礎
担当者	宮地あゆみ	授業形態 単位数	講義 1単位
授業概要	本学独自の学びを設定し、学科の専門領域を超えて幅広く知識・技術を学ぶ。また、学んだ内容を実践、発表することで社会を生きる自信を身に付ける。 本授業は基礎科目の学修成果(3)に対応する。		
到達目標	各コースの学びに触れ、実践することで基本的な知識技能を身に付け、表現することができる。		
学修成果の 評価基準	「おおたにの学び」理解と表現ルーブリック、レポートルーブリックを用いて評価する。		
	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習 予習・復習	
1.	子どもってどんな存在なのか学ぶ。	予習：講義の準備をする（30分） 復習：振り返り課題に取り組む（30分）	
2.	子どもと遊びの関係について学ぶ。	予習：次回講義の準備をする（30分） 復習：振り返り課題に取り組む（30分）	
3.	保育活動に参加するためのネームづくりをする。	予習：次回講義の準備をする（30分） 復習：振り返り課題に取り組む（30分）	
4.	保育活動に参加するためのネームづくりをする。	予習：次回講義の準備をする（30分） 復習：振り返り課題に取り組む（30分）	
5.	保育活動に参加するためのおもちゃづくりをする。	予習：次回講義の準備をする（30分） 復習：振り返り課題に取り組む（30分）	
6.	保育活動に参加するためのおもちゃづくりをする。	予習：次回講義の準備をする（30分） 復習：振り返り課題に取り組む（30分）	
7.	九州大谷幼稚園にて、保育の様子を見たり、実際に子どもと触れ合う経験をする。	予習：次回講義の準備をする（30分） 復習：振り返り課題に取り組む（30分）	
8.	九州大谷幼稚園にて、保育の様子を見たり、実際に子どもと触れ合う経験をする。	予習：次回講義の準備をする（30分） 復習：振り返り課題に取り組む（30分）	
9.			
10.			
11.			
12.			
13.			
14.			
15.			
教科書	なし		
参考書	『イラストで読む！幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領はわかりBOOK』無藤・汐見（著編）『保育・幼稚園教育・子ども家庭福祉辞典』中坪他		
学修成果の 評価方法	理解と表現（50％）、レポート（50％）		
特記すべき 事項	九州大谷幼稚園での体験日では、当日検温をしてから登校してください。		
質問・相談等 の 受 付	質問がある場合は、授業終了後もしくは研究室へ訪ねてきてください。 また、メールでの問い合わせも可能です。 G-mail: miyadi@kvushuotani.online		

科 目	おおたにの学び（造形）	開講時期 履修方法	1前期 必修、生活の基礎
担当者	西村幸一郎	授業形態 単位数	講義 1単位
授業概要	本学独自の学びを設定し、学科の専門領域を超えて幅広く知識・技術を学ぶ。また、学んだ内容を実践、発表することで社会を生きる自信を身に付ける。 本授業は基礎科目の学修成果(3)に対応する。		
到達目標	各コースの学びに触れ、実践することで基本的な知識技能を身に付け、表現することができる。		
学修成果の 評価基準	「おおたにの学び」理解と表現ルーブリック、レポートルーブリックを用いて評価する。		
	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習	
		予習・復習	
1.	オリエンテーション：造形技法の紹介	予習：学習する内容を下調べする(30分) 復習：学習した内容を振り返る(30分)	
2.	オリエンテーション：造形技法の紹介	予習：学習する内容を下調べする(30分) 復習：学習した内容を振り返る(30分)	
3.	制作の準備：材料やテーマ・モチーフの選択	予習：学習する内容を下調べする(30分) 復習：学習した内容を振り返る(30分)	
4.	制作の準備：材料やテーマ・モチーフの選択	予習：学習する内容を下調べする(30分) 復習：学習した内容を振り返る(30分)	
5.	制作①	予習：学習する内容を下調べする(30分) 復習：学習した内容を振り返る(30分)	
6.	制作①	予習：学習する内容を下調べする(30分) 復習：学習した内容を振り返る(30分)	
7.	制作②	予習：学習する内容を下調べする(30分) 復習：学習した内容を振り返る(30分)	
8.	制作②、レポート	予習：学習する内容を下調べする(30分) 復習：学習した内容を振り返る(30分)	
9.			
10.			
11.			
12.			
13.			
14.			
15.			
教科書			
参考書			
学修成果の 評価方法	理解と表現（50％）、レポート（50％）		
特記すべき 事項	初回は不要ですが、汚れてもよい服装等の準備をお願いする場合があります。		
質問・相談等 の 受 付			

科 目	おおたにの学び（健康と福祉）	開講時期 履修方法	1 年前期 必修、生活の基礎
担当者	塚本真由美	授業形態 単位数	講義 1単位
授業概要	本学独自の学びを設定し、学科の専門領域を超えて幅広く知識・技術を学ぶ。また、学んだ内容を実践、発表することで社会を生きる自信を身に付ける。 本授業は基礎科目の学修成果(3)に対応する。		
到達目標	各コースの学びに触れ、実践することで基本的な知識技能を身に付け、表現することができる。		
学修成果の 評価基準	「おおたにの学び」理解と表現ルーブリック、レポートルーブリックを用いて評価する。		
	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習	
		予習・復習	
1.	オリエンテーション 健康ってどういうこと？まずは、セルフチェック	予習：学習する内容を下調べする (30分) 復習：学習した内容を振 り返る(30分)	
2.	オリエンテーション 健康ってどういうこと？まずは、セルフチェック	予習：学習する内容を下調べする (30分) 復習：学習した内容を振 り返る(30分)	
3.	セルフマネジメント(健康・体調・時間・感情・モチベーション、そしてお金も？)	予習：学習する内容を下調べする (30分) 復習：学習した内容を振 り返る(30分)	
4.	セルフマネジメント(感染症を予防するには？)	予習：学習する内容を下調べする (30分) 復習：学習した内容を振 り返る(30分)	
5.	車いすでレクリエーション	予習：学習する内容を下調べする (30分) 復習：学習した内容を振 り返る(30分)	
6.	車いすで社会活動！	予習：学習する内容を下調べする (30分) 復習：学習した内容を振 り返る(30分)	
7.	今からフレイル予防に注目！〇〇で社会参加	予習：学習する内容を下調べする (30分) 復習：学習した内容を振 り返る(30分)	
8.	今からフレイル予防に注目！〇〇で社会参加	予習：学習する内容を下調べする (30分) 復習：学習した内容を振 り返る(30分)	
9.			
10.			
11.			
12.			
13.			
14.			
15.			
教科書	なし		
参考書			
学修成果の 評価方法	理解と表現（50%）、レポート（50%）		
特記すべき 事 項			
質問・相談等 の 受 付			

科 目	おおたにの学び（リトミックの方法を用いた 音楽の学び・表現）	開講時期 履修方法	1 年前期 必修、生活の基礎
担当者	丹原 要	授業形態 単位数	講義 1単位
授業概要	本授業は、リトミックの基本的な考え方と手法を用いながら、音楽を身体で感じ、学び、表現することを目的とする。音楽の専門的な知識や演奏経験がない学生でも参加できるよう、実践（演習）を中心に進める。リトミックを通じて、リズム感や表現力、即興的な想像力、またグループで活動する力を育むことを目指す。なお、授業の進行状況に合わせて内容が変化する。 本授業は基礎科目の学修成果(3)に対応する。		
到達目標	各コースの学びに触れ、実践することで基本的な知識技能を身に付け、表現することができる。 具体的には、音楽を身体を通して体験・表現し、リズムやメロディなどの音楽的要素を感覚的に理解する。個人、またはグループでの即興手な表現活動を通じて、協調性や想像力を高める。音楽を「時間・空間・エネルギー」と結び付けながら学ぶ。自分なりの表現方法を見つけ、自由に表現する楽しさを味わう。		
学修成果の 評価基準	「おおたにの学び」理解と表現ルーブリック、レポートルーブリックを用いて評価する。		
	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習	
		予習・復習	
1.	リトミックとは？ ～身体で繋がる音楽～	予習：学習する内容を下調べする(30分) 復習：学習した内容を振り返る(30分)	
2.	リズムの発見と創造	予習：学習する内容を下調べする(30分) 復習：学習した内容を振り返る(30分)	
3.	音の高低・強弱・ニュアンスを感じる	予習：学習する内容を下調べする(30分) 復習：学習した内容を振り返る(30分)	
4.	身体や声、楽器を使ったアンサンブル	予習：学習する内容を下調べする(30分) 復習：学習した内容を振り返る(30分)	
5.	音楽と感情 ～表現の幅を広げる～	予習：学習する内容を下調べする(30分) 復習：学習した内容を振り返る(30分)	
6.	視覚的な表現と結び付けた創作活動	予習：学習する内容を下調べする(30分) 復習：学習した内容を振り返る(30分)	
7.	簡単な創作活動	予習：学習する内容を下調べする(30分) 復習：学習した内容を振り返る(30分)	
8.	まとめと発表会	予習：学習する内容を下調べする(30分) 復習：学習した内容を振り返る(30分)	
9.			
10.			
11.			
12.			
13.			
14.			
15.			
教科書	なし		
参考書			
学修成果の 評価方法	理解と表現（50％）、レポート（50％）		
特記すべき 事 項			
質問・相談等 の 受 付	授業の前後に直接、またはメールにて受け付ける。		

科 目	おおたにの学び（書道）	開講時期 履修方法	1 年前期 必修、生活の基礎
担当者	下川佐知子	授業形態 単位数	講義 1単位
授業概要	本学独自の学びを設定し、学科の専門領域を超えて幅広く知識・技術を学ぶ。また、学んだ内容を実践、発表することで社会を生きる自信を身に付ける。 本授業は基礎科目の学修成果(3)に対応する。		
到達目標	各コースの学びに触れ、実践することで基本的な知識技能を身に付け、表現することができる。		
学修成果の 評価基準	「おおたにの学び」理解と表現ルーブリック、レポートルーブリックを用いて評価する。		
	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習	
		予習・復習	
1.	万年筆（パイロットカクノ）を使って、ひらがな・漢字の楷書の練習。短い文章の練習。一筆箋の書き方の説明	予習：学習する内容を下調べする(30分) 復習：学習した内容を振り返る(30分)	
2.	万年筆（パイロットカクノ）を使って、ひらがな・漢字の楷書の練習。短い文章の練習。一筆箋の書き方の説明	予習：学習する内容を下調べする(30分) 復習：学習した内容を振り返る(30分)	
3.	万年筆（パイロットカクノ）を使って、漢字の楷書と行書の練習。筆順も確認。短い手紙文の練習。手紙の基本的な書き方の説明。	予習：学習する内容を下調べする(30分) 復習：学習した内容を振り返る(30分)	
4.	万年筆（パイロットカクノ）を使って、漢字の楷書と行書の練習。筆順も確認。短い手紙文の練習。手紙の基本的な書き方の説明。	予習：学習する内容を下調べする(30分) 復習：学習した内容を振り返る(30分)	
5.	万年筆（パイロットカクノ）を使って、履歴書の練習。筆（筆ペン可）を使って、熨斗書きの練習。 {弔辞・慶事}	予習：学習する内容を下調べする(30分) 復習：学習した内容を振り返る(30分)	
6.	万年筆（パイロットカクノ）を使って、履歴書の練習。筆（筆ペン可）を使って、熨斗書きの練習。 {弔辞・慶事}	予習：学習する内容を下調べする(30分) 復習：学習した内容を振り返る(30分)	
7.	筆（筆ペン可）を使って、熨斗書きの練習。暑中見舞いを書いてみましょう。最後に好きな言葉を作品にしてみよう。	予習：学習する内容を下調べする(30分) 復習：学習した内容を振り返る(30分)	
8.	筆（筆ペン可）を使って、熨斗書きの練習。暑中見舞いを書いてみましょう。最後に好きな言葉を作品にしてみよう。	予習：学習する内容を下調べする(30分) 復習：学習した内容を振り返る(30分)	
9.			
10.			
11.			
12.			
13.			
14.			
15.			
教科書	テキストはコピーして配布します。		
参考書			
学修成果の 評価方法	理解と表現（50％）、レポート（50％）		
特記すべき 事項	万年筆（パイロットカクノ）と書道道具を持参すること。無い方は筆ペン（呉竹8号）を準備すること。 担当者の実務経験：九州大谷短期大学非常勤講師39年・県立非常勤講師28年、九州芸文館アカデミー講師10年・春興書道教室主宰38年		
質問・相談等 の 受 付			

科 目	おおたにの学び（おおたに版 地域おこし協力隊）	開講時期 履修方法	1 年前期 必修、生活の基礎
担当者	荒川大地	授業形態 単位数	講義 1単位
授業概要	本学独自の学びを設定し、学科の専門領域を超えて幅広く知識・技術を学ぶ。また、学んだ内容を実践、発表することで社会を生きる自信を身に付ける。 本授業は基礎科目の学修成果(3)に対応する。		
到達目標	各コースの学びに触れ、実践することで基本的な知識技能を身に付け、表現することができる。		
学修成果の 評価基準	「おおたにの学び」理解と表現ルーブリック、レポートルーブリックを用いて評価する。		
	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習 予習・復習	
1.	オリエンテーション 羽犬塚キッズフェスタ 出店企画①	予習：事前調査（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
2.	羽犬塚キッズフェスタ 出店企画②	予習：事前調査（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
3.	ホークス2軍戦 出店企画①	予習：事前調査（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
4.	ホークス2軍戦 出店企画②	予習：事前調査（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
5.	地域イベントへの参画、出店①	予習：事前調査（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
6.	地域イベントへの参画、出店②	予習：事前調査（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
7.	実施イベントの振り返り①	予習：事前調査（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
8.	実施イベントの振り返り②	予習：事前調査（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
9.			
10.			
11.			
12.			
13.			
14.			
15.			
教科書			
参考書			
学修成果の 評価方法	理解と表現（50%）、レポート（50%）		
特記すべき 事項	イベント出演時（土日）は企画発表の場として授業コマを充当させます。 出演（予定）イベント：4/27（日）羽犬塚キッズフェスタ、6/21（土）ホークス2軍戦		
質問・相談等 の 受 付			

科 目	おおたにの学び（オーキャンスタッフ）	開講時期 履修方法	1年前期 必修、生活の基礎
担当者	中島 航	授業形態 単位数	講義 1単位
授業概要	本学独自の学びを設定し、学科の専門領域を超えて幅広く知識・技術を学ぶ。また、学んだ内容を実践、発表することで社会を生きる自信を身に付ける。 本授業は基礎科目の学習成果(3)に対応する。		
到達目標	各コースの学びに触れ、実践することで基本的な知識技能を身に付け、表現することができる。		
学修成果の 評価基準	「おおたにの学び」理解と表現ルーブリック、レポートルーブリックを用いて評価する。		
	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習	
		予習・復習	
1.	オリエンテーション オープンキャンパスとは、オープンキャンパススタッフとは。	予習：事前調査（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
2.	九州大谷短期大学を知る ～自分の大学のことをすみずみまで知る。キャンパス探検学習～	予習：事前調査（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
3.	「コミュニケーション」術を学ぶ ～オープンキャンパスや社会に出て役に立つ「コミュニケーション」術～	予習：事前調査（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
4.	「おもてなし」術を学ぶ ～オープンキャンパスや社会に出て役に立つ「おもてなし」術～	予習：事前調査（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
5.	とにかく明るいオープンキャンパスを企画する①	予習：事前調査（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
6.	とにかく記憶に残るオープンキャンパスを企画する②	予習：事前調査（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
7.	とにかく来て良かったと思うオープンキャンパスを企画する③	予習：事前調査（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
8.	とにかくまた来たいくなるオープンキャンパスを企画する④	予習：事前調査（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
9.			
10.			
11.			
12.			
13.			
14.			
15.			
教科書			
参考書			
学修成果の 評価方法	理解と表現（50％）レポート（50％）		
特記すべき 事項	土曜日や日曜日にあるオープンキャンパスに参加できる人の履修が望ましいです（有償ボランティア）。 ※もちろん、毎回、参加できなくても可です。		
質問・相談等 の 受 付	授業担当の中島。または事務局（アドミッションセンター）の草野まで。		

科 目	情報処理 I	開講時期 履修方法	1 年前期 選択、生活の基礎
担当者	PCワークス・坂川和彦	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	キーボード操作を段階的にトレーニングし、タッチタイピングをマスターする。 ネットワーク上のファイルとフォルダの管理とUSBへのバックアップを学ぶ。 ワード、エクセル、パワーポイントの基本操作を演習を通じて学ぶ。 本授業は基礎科目の学修成果(2)に対応する。		
到達目標	授業で作成したデータを個人領域に保存した上で、指定のフォルダに提出できる。 現状のパソコン技能レベルを課題作成で客観的に把握するとともに、1段階上のレベルの演習でスキルアップに取り組むことができる。		
学修成果の 評価基準	タッチタイピングの習熟度を測るために、定期的にタイピングソフトの成績表をレポート提出とし評価する。 授業で提出用フォルダに提出されたデータを、課題完成例と比較して評価をする。 総合評価し、総合評価が60%で合格（C判定以上）となる。		
	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習	
		予習・復習	
1.	オリエンテーション パソコン室のパソコンの使い方、タイプクイックの使い方	予習：タイピング練習（30分） 復習：タイピングソフトの使い方と練習（30分）	
2.	タイピングソフトでタイピングトレーニング 自分の新記録にトライ タイピングできるなら文書入力速度計測	予習：タイピング練習（30分） 復習：タイピング練習（30分）	
3.	ワード文書4級レベルでビジネス文書編集の基礎演習（1） PDFマニュアルとWord画面をモニタ画面に横並びで作業する	予習：タイピング練習（30分） 復習：本時を振り返る（30分）	
4.	ワード文書3級のビジネス文書編集の基礎演習（1） 練習課題「速度入力」と「ビジネス文書作成」にトライ	予習：タイピング練習（30分） 復習：本時を振り返る（30分）	
5.	ワード文書3級のビジネス文書編集の基礎演習（2） ワンランク上の文書をマニュアルに沿って作成	予習：タイピング練習（30分） 復習：表入り文書作成（30分）	
6.	ワード文書3級のビジネス文書編集の基礎演習（3） ワンランク上の文書をマニュアルに沿って作成	予習：タイピング練習（30分） 復習：本時を振り返る（30分）	
7.	エクセル表計算4級レベルの基礎演習（1） 足し算・引き算・かけ算・わり算をマスター、表計算の合計と平均の演習	予習：タイピング練習（30分） 復習：四則演算の数式の練習（30分）	
8.	エクセル表計算4級レベルの基礎演習（2） 表計算の合計と平均の演習	復習：合計と平均の関数の練習（30分） 予習：タイピング練習（30分）	
9.	エクセル表計算3級レベルの基礎演習（3） 自分に合ったレベルを選択して演習	予習：タイピング練習（30分） 復習：集計表の作成（30分）	
10.	パワーポイントのプレゼンテーション4級レベルで演習（1） スライドの作成、図形、アニメーションの設定	予習：タイピング練習（30分） 復習：スライドの作成（30分）	
11.	パワーポイントのプレゼンテーション3級レベルで演習（2） スライドの作成、画像、表、アニメーションの設定	予習：アニメーション操作（30分） 復習：アニメーションの練習（30分）	
12.	パワーポイントのプレゼンテーション3級レベルで演習（3） 自分に合ったレベルを選択して演習	予習：アニメーション操作（30分） 復習：本時を振り返る（30分）	
13.	ワードのビジネス文書作成 文書をマニュアルに沿って作成・まとめ	予習：ワードの文書作成（30分） 復習：本時を振り返る（30分）	
14.	エクセル表計算の演習 自分に合ったレベルを選択して演習・まとめ	予習：エクセルの一覧表作成（30分） 復習：本時を振り返る（30分）	
15.	パワーポイントのプレゼンテーションの演習 自分に合ったレベルを選択して演習・まとめ	予習：パワーポイントの編集（30分） 復習：授業全体を振り返る（30分）	
教科書	購入する教科書はなし タイプクイック USB版 2,750円		
参考書	日本情報処理検定協会のサイトを活用します。		
学修成果の 評価方法	授業態度（10%）、課題提出（70%） コミュニケーション（報告・連絡・相談）（20%）		
特記すべき 事項	個々人の習熟度に合わせて個別に対応します。 パソコンの習熟度を就職活動などで証明を希望する場合、資格試験も実施可能（7月）ですから早目に講師に相談してください。		
質問・相談等 の 受 付	授業期間は、授業時間外でもいつも受け付けます。		

科 目	情報処理Ⅰ（幼児教育学科）	開講時期 履修方法	1 年前期 選択、生活の基礎
担当者	PCワークス・坂川和彦	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	キーボード操作を段階的にトレーニングし、タッチタイピングをマスターする。 ネットワーク上のファイルとフォルダの管理とUSBへのバックアップを学ぶ。 ワード、エクセル、パワーポイントの基本操作を演習を通じて学ぶ。 本授業は基礎科目の学修成果(2)に対応する。		
到達目標	タッチタイピングの10段階のステップを15回の講義で完了する。 授業で作成したデータを個人領域に保存した上で、指定のフォルダに提出できる。 現状の自己レベルを課題作成で客観的に把握するとともに、1段階上のレベルの演習でスキルアップに取り組める。		
学修成果の 評価基準	タッチタイピングの習熟度を測るために、定期的にタイピングソフトの成績表の印刷物をレポート提出とし評価する。 授業で提出用フォルダに提出されたデータを、課題完成例と比較して評価をする。 総合評価し、総合評価が60%で合格（C判定以上）となる。		
	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習 予習・復習	
1.	オリエンテーション パソコン室のパソコンの使い方、タイプクイックの使い方	予習：タイピング練習（30分） 復習：Typequickの使い方と練習（30分）	
2.	Typequickアプリでタイピングトレーニング 自分の新記録にトライ タイピングできるなら文書入力速度計測	予習：タイピング練習（30分） 復習：タイピング練習（30分）	
3.	ワード文書4級レベルでビジネス文書編集の基礎演習（1） PDFマニュアルとWord画面をモニタ画面に横並びで作業する	予習：タイピング練習（30分） 復習：本時を振り返る（30分）	
4.	ワード文書3級のビジネス文書編集の基礎演習（1） 練習課題「速度入力」と「ビジネス文書作成」にトライ	予習：タイピング練習（30分） 復習：本時を振り返る（30分）	
5.	ワード文書3級のビジネス文書編集の基礎演習（2） ワンランク上の文書をマニュアルに沿って作成	予習：タイピング練習（30分） 復習：表入り文書作成（30分）	
6.	ワード文書3級のビジネス文書編集の基礎演習（3） ワンランク上の文書をマニュアルに沿って作成	予習：タイピング練習（30分） 復習：本時を振り返る（30分）	
7.	エクセル表計算3級レベルの基礎演習（1） 足し算・引き算・かけ算・わり算をマスター、表計算の合計と平均の演習	予習：タイピング練習（30分） 復習：四則演算の数式の練習（30分）	
8.	エクセル表計算3級レベルの基礎演習（2） 表計算の合計と平均の演習	予習：タイピング練習（30分） 復習：合計と平均の関数の練習（30分）	
9.	エクセル表計算3級レベルの基礎演習（3） 自分に合ったレベルを選択して演習	予習：タイピング練習（30分） 復習：集計表の作成（30分）	
10.	パワーポイントのプレゼンテーション3級レベルで演習（1） スライドの作成、図形、アニメーションの設定	予習：タイピング練習（30分） 復習：スライドの作成（30分）	
11.	パワーポイントのプレゼンテーション3級レベルで演習（2） スライドの作成、画像、表、アニメーションの設定	予習：アニメーション操作（30分） 復習：アニメーションの練習（30分）	
12.	パワーポイントのプレゼンテーション3級レベルで演習（3） 自分に合ったレベルを選択して演習	予習：アニメーション操作（30分） 復習：本時を振り返る（30分）	
13.	ワードのビジネス文書作成 文書をマニュアルに沿って作成・まとめ	予習：ワードの文書作成（30分） 復習：本時を振り返る（30分）	
14.	エクセル表計算の演習 自分に合ったレベルを選択して演習・まとめ	予習：エクセルの一覧表作成（30分） 復習：本時を振り返る（30分）	
15.	パワーポイントのプレゼンテーションの演習 自分に合ったレベルを選択して演習・まとめ	予習：パワーポイントの編集（30分） 復習：授業全体を振り返る（30分）	
教科書	購入する教科書はなし タイプクイックUSB版（2,750円）		
参考書	日本情報処理検定協会のサイトを活用します。		
学修成果の 評価方法	授業態度（10%）、課題提出（70%）、コミュニケーション（報告・連絡・相談）（20%）		
特記すべき 事項	個々人の習熟度に合わせて個別に対応します。 パソコンの習熟度を就職活動などで証明を希望する場合、資格試験も実施可能（7月）ですから早目に講師に相談してください。		
質問・相談等 の 受 付	授業期間は、授業時間外でもいつも受け付けます。		

科 目	情報処理Ⅱ	開講時期 履修方法	1年後期 選択、生活の基礎
担当者	PCワークス・坂川和彦	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	・Wordの応用操作、様々なビジネス文書・デザイン文書の編集の効率化を学ぶ。 ・Excelの応用操作、表計算とデータベース機能、グラフなど、より効率的なショートカットキーの操作等を学ぶ。 ・PowerPointの応用操作、求められる成果物についてマニュアルをしっかりと反映したデータの作り方を学ぶ。 本授業は基礎科目の学修成果(2)に対応する。		
到達目標	・Wordで限られた時間内にビジネス文書やデザイン文書を効率のよいキー操作を使って作成できる。 ・Excelの数式と関数、グラフ、データベース機能をより効率の良い方法で処理できる。 ・PowerPointのプレゼンテーション用スライド作成の操作をマスターし、実務に活用できる応用操作ができる。		
学修成果の 評価基準	・タイピングの習熟度を測るために、定期的にタッチタイピング進捗記録のレポート提出で評価する。 ・到達目標の達成度を測るために、授業内課題のデータ提出の完成度により評価する。 ・総合評価し、総合評価が60%で合格（C判定以上）となる。 ・資格本試験の場合、80%以上の評価で合格となる。		
	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）		授業時間外学習 予習・復習
1.	Word日本語ワープロ文書課題（1） ビジネス文書：様々な表の作成	予習：タイピング練習（30分） 復習：文字入力と書式設定を練（30分）	
2.	Word文書デザイン課題（2） ビジネス文書：図式、画像の挿入、地図の作成	予習：操作手順の確認（30分） 復習：図式、画像の挿入、地図作成の練習（30分）	
3.	Excel四則演算課題（1） 表計算機能で身近な集計表の作成	予習：足算・引算・乗算・除算の練習（30分） 復習：演習課題を反復練習（30分）	
4.	Excel数式と関数課題（2） 表計算・データベース機能を使った表の作成	予習：5つの関数挿入（30分） 復習：データベース機能を含む課題を解く（30分）	
5.	Excel関数応用とグラフ（3） 表計算で高度な関数とグラフの作成	予習：グラフ作成手順の確認（30分） 復習：高度な関数を含む課題を解く（30分）	
6.	PowerPointプレゼンテーション（1） スライドの作成・背景色・画面切り替え	予習：2枚程度の簡単なスライド作成を練習（30分） 復習：簡単なスライド作成課題を解く（30分）	
7.	PowerPointプレゼンテーション（2） スライド上のオブジェクト作成とアニメーション	予習：アニメーションの設定（30分） 復習：アニメーションを含む課題を解く（30分）	
8.	PowerPointプレゼンテーション（3） 表・グラフ・図式など情報量が多いスライドの作成	予習：表・グラフ機能の操作手順の確認（30分） 復習：情報量が多い課題を練習（30分）	
9.	Word・Excel・PowerPoint情報処理（1） 新しい課題を時間内に仕上げる事を目標に計測し、質疑応答で弱点補強する。	予習：タッチタイピング練習（30分） 復習：時間内にできなかった課題の仕上げ（30分）	
10.	Word・Excel・PowerPoint情報処理（2） 異なる課題を時間内に仕上げる事を目標に計測する。 ポイントレッスンで弱点補強。	予習：タッチタイピング練習（30分） 復習：ポイントレッスンを再度練習（30分）	
11.	Word・Excel・PowerPoint情報処理（3） ワンランク上の課題を仕上げる事を目標に演習。 実務で必要となるキーボード操作。	予習：タッチタイピング練習（30分） 復習：ショートカットキーが身に付くまで練習（30分）	
12.	情報処理実践（1） 目標とするレベルの新たな課題を選択して模擬試験	予習：タッチタイピング練習（30分） 復習：1度解いた課題をもう1度解く（30分）	
13.	情報処理実践（2） 目標とするレベルの新たな課題を選択して模擬試験	予習：タッチタイピング練習（30分） 復習：1度解いた課題をもう1度解く（30分）	
14.	情報処理実践（3） 目標とするレベルの新たな課題を選択して模擬試験	予習：タッチタイピング練習（30分） 復習：1度解いた課題をもう1度解く（30分）	
15.	情報処理実践のまとめ 資格取得を目指して各自選択した課題を解く Word・Excel・PowerPointのデータの利活用について	予習：タッチタイピング練習（30分） 復習：疑問点があれば書き出して質問（30分）	
教科書	・タイピング練習に、タイプクイックまたはインターネットを活用 ・日本情報処理検定Web上課題		
参考書			
学修成果の 評価方法	受講態度（20%）、レポート提出（40%）、授業内課題（40%）		
特記すべき 事項	個々人の習熟度に合わせて個別に対応します。 就職活動などで活用したい場合、資格試験も実施可能（12月）ですから早目に講師に相談してください。（任意）		
質問・相談等 の 受 付	授業期間中は、授業時間の前後でも受け付けます。		

科 目	華道Ⅰ	開講時期 履修方法	1年前期 選択、生活の基礎
担当者	市岡久美子	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	自由花・盛花の基本 本授業は基礎科目の学修成果(2)に対応する。		
到達目標	池坊協教授3級の取得を目指す 入門・初伝		
学修成果の 評価基準	自由花・成果の基本の修得を測るため、授業内課題で評価し、授業のまとめとして到達度を測り評価する。		
	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）		授業時間外学習
			予習・復習
1.	生け花を始める心構え	予習：シラバスを読む（30分） 復習：自宅で生け直す（30分）	
2.	生け花の特性	予習：池坊花伝書を読む（30分） 復習：自宅で生け直す（30分）	
3.	盛花の基本的な生け花	予習：池坊花伝書を読む（30分） 復習：自宅で生け直す（30分）	
4.	盛花の基本的な生け花	予習：池坊花伝書を読む（30分） 復習：自宅で生け直す（30分）	
5.	盛花の基本的な生け花	予習：池坊花伝書を読む（30分） 復習：自宅で生け直す（30分）	
6.	盛花の基本的な生け花	予習：池坊花伝書を読む（30分） 復習：自宅で生け直す（30分）	
7.	自由花	予習：池坊花伝書を読む（30分） 復習：自宅で生け直す（30分）	
8.	自由花	予習：池坊花伝書を読む（30分） 復習：自宅で生け直す（30分）	
9.	盛花	予習：池坊花伝書を読む（30分） 復習：自宅で生け直す（30分）	
10.	盛花	予習：池坊花伝書を読む（30分） 復習：自宅で生け直す（30分）	
11.	自由花	予習：池坊花伝書を読む（30分） 復習：自宅で生け直す（30分）	
12.	生花の基本的な生け花	予習：池坊花伝書を読む（30分） 復習：自宅で生け直す（30分）	
13.	生花の基本的な生け花	予習：池坊花伝書を読む（30分） 復習：自宅で生け直す（30分）	
14.	盛花	予習：池坊花伝書を読む（30分） 復習：自宅で生け直す（30分）	
15.	自由花・まとめ	予習：池坊花伝書を読む（30分） 復習：自宅で生け直す（30分）	
教科書	池坊花伝書		
参考書			
学修成果の 評価方法	受講態度（10%）、授業内課題（50%）、その他【まとめ】（40%）		
特記すべき 事項	鉄の準備 担当者の実務経験：華道教室・アレンジメント教室40年以上		
質問・相談等 の 受 付			

科 目	華道Ⅱ	開講時期 履修方法	1 年後期 選択、生活の基礎
担当者	市岡久美子	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	生花の基本的ないけ方 本授業は基礎科目の学修成果(2)に対応する。		
到達目標	池坊協教授3級の取得を目指す 中伝		
学修成果の 評価基準	自由花・生花の基本の修得を測るため、授業内課題で評価し、授業のまとめとして到達度を測り評価する。		
	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）		授業時間外学習
			予習・復習
1.	生花	予習：シラバスを読む（30分） 復習：自宅で生け直す（30分）	
2.	生花	予習：池坊花伝書を読む（30分） 復習：自宅で生け直す（30分）	
3.	生花	予習：池坊花伝書を読む（30分） 復習：自宅で生け直す（30分）	
4.	盛花	予習：池坊花伝書を読む（30分） 復習：自宅で生け直す（30分）	
5.	生花	予習：池坊花伝書を読む（30分） 復習：自宅で生け直す（30分）	
6.	自由花	予習：池坊花伝書を読む（30分） 復習：自宅で生け直す（30分）	
7.	盛花	予習：池坊花伝書を読む（30分） 復習：自宅で生け直す（30分）	
8.	生花	予習：池坊花伝書を読む（30分） 復習：自宅で生け直す（30分）	
9.	自由花	予習：池坊花伝書を読む（30分） 復習：自宅で生け直す（30分）	
10.	盛花	予習：池坊花伝書を読む（30分） 復習：自宅で生け直す（30分）	
11.	生花	予習：池坊花伝書を読む（30分） 復習：自宅で生け直す（30分）	
12.	自由花	予習：池坊花伝書を読む（30分） 復習：自宅で生け直す（30分）	
13.	生花	池予習：池坊花伝書を読む（30分） 復習：自宅で生け直す（30分）	
14.	生花	予習：池坊花伝書を読む（30分） 復習：自宅で生け直す（30分）	
15.	生花・まとめ	予習：池坊花伝書を読む（30分） 復習：自宅で生け直す（30分）	
教科書	池坊花伝書		
参考書			
学修成果の 評価方法	受講態度（10%）、授業内課題（50%）、その他【まとめ】（40%）		
特記すべき 事項	鉄の準備 担当者の実務経験：華道教室・アレンジメント教室40年以上		
質問・相談等 の 受 付			

科 目	英語 I	開講時期 履修方法	1 年前期 選択、生活の基礎
担当者	(株)SES (Bill) ・ 武井弥弘	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	英語の基本をたのしく 本授業は基礎科目の学修成果(1)に対応する。		
到達目標	外国人とコミュニケーションができる英語		
学修成果の 評価基準	受講態度60%、授業の課題30%、 試験10%		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習	
		予習・復習	
1.	コース紹介+自己紹介 + レベルチェック	予習：シバズを読み授業準備をする (30分) 復習：授業の振り返り (30分)	
2.	トピック： am, are, is - 学生です。 / 日本出身です。	予習：授業内容の下調べ (30分) 復習：授業の振り返り (30分)	
3.	トピック： am, are, is (?) - 学生ですか？ / アメリカ出身ですか？	予習：授業内容の下調べ (30分) 復習：授業の振り返り (30分)	
4.	トピック： a/an- (単数形と複数形の名詞)	予習：授業内容の下調べ (30分) 復習：授業の振り返り (30分)	
5.	トピック： have - 猫を飼っています。 / 車を持っています。	予習：授業内容の下調べ (30分) 復習：授業の振り返り (30分)	
6.	トピック： I do/work/like - (現在形) マンガを読みます。 / TikTokの動画を見ます。	予習：授業内容の下調べ (30分) 復習：授業の振り返り (30分)	
7.	トピック： I don ' t -(現在形の否定) 運転しません。 / 英語を話しません。	予習：授業内容の下調べ (30分) 復習：授業の振り返り (30分)	
8.	トピック： Do you...? (現在形の疑問文) サッカーをしますか？	予習：授業内容の下調べ (30分) 復習：授業の振り返り (30分)	
9.	トピック： Nice, tall, pretty, ugly (形容詞)	予習：授業内容の下調べ (30分) 復習：授業の振り返り (30分)	
10.	トピック： was, were - 野球選手でした。 / 悲しかった	予習：授業内容の下調べ (30分) 復習：授業の振り返り (30分)	
11.	トピック： worked, got, went (過去形) 福岡の高校に通っていました。	予習：授業内容の下調べ (30分) 復習：授業の振り返り (30分)	
12.	トピック： I didn't. Did you? (過去形の否定と疑問) キャンディーを取ったの？ / キャンディーを取っていない！	予習：授業内容の下調べ (30分) 復習：授業の振り返り (60分)	
13.	トピック： What...? Which...? Why...? 何...? どれ...? なぜ...?	予習：授業内容の下調べ (60分) 復習：授業の振り返り (90分)	
14.	学期のまとめ	予習：授業内容の下調べ (90分) 復習：授業の振り返り (30分)	
15.	最終試験 +アンケート	予習：授業内容の下調べ (30分) 復習：授業の振り返り (30分)	
教科書			
参考書	英和英辞書又はスマホの翻訳アプリ		
学修成果の 評価方法	受講態度 (70%)、グループプロジェクトプレゼンテーション (20%)、試験 (10%)		
特記すべき 事 項	授業に積極的に参加する事が重要です。 学びの中で英語を間違える事は、学習へのステップです。		
質問・相談等 の 受 付			

科 目	英語Ⅰ（幼児教育学科）	開講時期 履修方法	1 年前期 選択、生活の基礎
担当者	スティーブン	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	2歳から6歳までの幼児向けの英語。なぜ？ どうやって？ 本授業は基礎科目の学修成果(1)に対応する。		
到達目標	幼児のころからコミュニケーションをとりながら 英語がたのしい！英語は難しくない！英語は面白い！という気持ちを最も大切にする。		
学修成果の 評価基準	受講態度70%、プロジェクトプレゼンテーション20%、 試験10%		
	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習	
		予習・復習	
1.	コース紹介+自己紹介	予習：シラバスを読み授業準備をする（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
2.	テーマ1：昆虫	予習：授業内容の下調べ（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
3.	グループタスク	予習：授業内容の下調べ（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
4.	テーマ2：動物	予習：授業内容の下調べ（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
5.	グループタスク	予習：授業内容の下調べ（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
6.	テーマ3：時間	予習：授業内容の下調べ（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
7.	グループタスク	予習：授業内容の下調べ（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
8.	テーマ4：くだものと野菜	予習：授業内容の下調べ（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
9.	グループタスク	予習：授業内容の下調べ（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
10.	テーマ5：乗り物	予習：授業内容の下調べ（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
11.	グループタスク +グループプロジェクトの紹介	予習：授業内容の下調べ（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
12.	グループプロジェクト ディスカッション	予習：授業内容の下調べ（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
13.	グループプロジェクトプレゼンテーション + 自己評価	予習：授業内容の下調べ（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
14.	学期のまとめ	予習：授業内容の下調べ（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
15.	最終試験 +アンケート	予習：授業内容の下調べ（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
教科書			
参考書	英和英辞書又はスマホの翻訳アプリ		
学修成果の 評価方法	受講態度（70%）、グループプロジェクトプレゼンテーション（20%）、試験（10%）		
特記すべき 事項	授業に積極的に参加する事が重要です。 学びの中で英語を間違える事は、学習へのステップです。		
質問・相談等 の 受 付			

科 目	英語Ⅱ	開講時期 履修方法	1年後期 選択、生活の基礎
担当者	(株)SES（Bill）・武井弥弘	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	英語の基本をたのしく 本授業は基礎科目の学修成果(1)に対応する。		
到達目標	外国人とコミュニケーションができる英語		
学修成果の 評価基準	受講態度60%、授業の課題30%、 試験10%		
	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習 予習・復習	
1.	ディスカッション	予習：シラバスを読み授業準備をする（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
2.	トピック	予習：授業内容の下調べ（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
3.	トピック	予習：授業内容の下調べ（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
4.	トピック	予習：授業内容の下調べ（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
5.	トピック	予習：授業内容の下調べ（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
6.	トピック	予習：授業内容の下調べ（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
7.	トピック	予習：授業内容の下調べ（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
8.	トピック	予習：授業内容の下調べ（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
9.	トピック	予習：授業内容の下調べ（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
10.	トピック	予習：授業内容の下調べ（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
11.	トピック	予習：授業内容の下調べ（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
12.	トピック	予習：授業内容の下調べ（30分） 復習：授業の振り返り（60分）	
13.	トピック	予習：授業内容の下調べ（60分） 復習：授業の振り返り（90分）	
14.	学期のまとめ	予習：授業内容の下調べ（90分） 復習：授業の振り返り（30分）	
15.	最終試験 ＋アンケート	予習：授業内容の下調べ（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
教科書			
参考書	英和英辞書又はスマホの翻訳アプリ		
学修成果の 評価方法	受講態度（60%）、授業の課題（30%）、 試験（10%）		
特記すべき 事 項	授業に積極的に参加する事が重要です。 学びの中で英語を間違える事は、学習へのステップです。		
質問・相談等 の 受 付			

科 目	英語Ⅱ（幼児教育学科）	開講時期 履修方法	1年後期 選択、生活の基礎
担当者	スティーブン	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	2歳から6歳までの幼児向けの英語。なぜ？ どうやって？ 本授業は基礎科目の学修成果(1)に対応する。		
到達目標	幼児のころからコミュニケーションをとりながら 英語がたのしい！英語は難しくない！英語は面白い！という気持ちを最も大切にする。		
学修成果の 評価基準	受講態度70%、プロジェクトプレゼンテーション20%、 試験10%		
	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習 予習・復習	
1.	えいご遊ぼう	予習：シバスを読み授業準備をする（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
2.	おとぎ話：The Three Little Pigs	予習：授業内容の下調べ（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
3.	グループタスク	予習：授業内容の下調べ（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
4.	おとぎ話:Peachboy	予習：授業内容の下調べ（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
5.	グループタスク	予習：授業内容の下調べ（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
6.	おとぎ話:The Wolf & the Seven Goats	予習：授業内容の下調べ（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
7.	グループタスク	予習：授業内容の下調べ（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
8.	おとぎ話:Rolling Riceball	予習：授業内容の下調べ（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
9.	グループタスク	予習：授業内容の下調べ（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
10.	おとぎ話:The Crab & The Monkey	予習：授業内容の下調べ（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
11.	グループタスク	予習：授業内容の下調べ（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
12.	おとぎ話:The Big Turnip グループプロジェクトの紹介	予習：授業内容の下調べ（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
13.	グループプロジェクト ディスカッション	予習：授業内容の下調べ（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
14.	グループプロジェクトプレゼンテーション + 自己評価	予習：授業内容の下調べ（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
15.	最終試験 +アンケート	予習：授業内容の下調べ（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
教科書			
参考書	英和英辞書又はスマホの翻訳アプリ		
学修成果の 評価方法	受講態度（70%）、グループプロジェクトプレゼンテーション（20%）、試験（10%）		
特記すべき 事項	授業に積極的に参加する事が重要です。 学びの中で英語を間違える事は、学習へのステップです。		
質問・相談等 の 受 付			

科 目	韓国語Ⅰ	開講時期 履修方法	1年前期 選択、生活の基礎
担当者	中島結菜	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	韓国語の基礎から日常で使える単語や会話の「話す」・「書く」・「聞く」を学ぶ。 本授業は基礎科目の学修成果(1)に対応する。		
到達目標	韓国語を聞き取り、適切な返答ができるようになる。		
学修成果の 評価基準	試験、ミニテスト、受講態度を評価とする。		
	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習 予習・復習	
1.	自己紹介・授業について（流れなど）・韓国語アニメ（幼児向け）視聴	予習：教科書を読んでおく（30分） 復習：今回の内容の復習（30分）	
2.	トピック① 韓国語の字の作りについて 1-1	予習：前回の内容の復習（30分） 復習：今回の内容の復習（30分）	
3.	トピック② 韓国語の字の作りについて 1-2	予習：前回の内容の復習（30分） 復習：今回の内容の復習（30分）	
4.	トピック③ 韓国語の字の作りについて 2-1	予習：前回の内容の復習（30分） 復習：今回の内容の復習（30分）	
5.	トピック④ 韓国語の字の作りについて 2-2	予習：前回の内容の復習（30分） 復習：今回の内容の復習（30分）	
6.	トピック⑤ 韓国語の字の作りについて 3-1(パッチム)	予習：前回の内容の復習（30分） 復習：今回の内容の復習（30分）	
7.	トピック⑥ 韓国語の字の作りについて 3-2(パッチム)	予習：前回の内容の復習（30分） 復習：今回の内容の復習（30分）	
8.	トピック⑦ 韓国語の字の作りについて 4-1	予習：前回の内容の復習（30分） 復習：今回の内容の復習（30分）	
9.	トピック⑧ 韓国語の字の作りについて 4-2	予習：前回の内容の復習（30分） 復習：今回の内容の復習（30分）	
10.	トピック⑨ 韓国の数字、身体の名称、韓国料理	予習：前回の内容の復習（30分） 復習：今回の内容の復習（30分）	
11.	トピック⑩ 持ち物の名称①、持ち物の名称②、自己紹介で使える挨拶文	予習：前回の内容の復習（30分） 復習：今回の内容の復習（30分）	
12.	トピック⑪ 1課 挨拶（1） 自己紹介をして挨拶ができるようになる。	予習：前回の内容の復習（30分） 復習：今回の内容の復習（30分）	
13.	トピック⑫ 1課 挨拶（2） 自己紹介をして挨拶ができるようになる。	予習：前回の内容の復習（30分） 復習：今回の内容の復習（30分）	
14.	トピック⑬ 「トピック①～⑫」までの復習 ＋ 韓国映画視聴	予習：前回の内容の復習（30分） 復習：今回の内容の復習（30分）	
15.	トピック⑭ 学期のまとめ・質問など ＋ 韓国映画視聴	予習：前回の内容の復習（30分） 復習：今回の内容の復習（30分）	
教科書	『開かれた韓国語 入門』、『開かれた韓国語 初級Ⅰ』		
参考書	なし		
学修成果の 評価方法	試験（50％）、ミニテスト（10％）、受講態度（40％）		
特記すべき 事項	授業に積極的に参加することが重要です。たくさん会話の練習をしましょう。 授業をきちんと受けていれば難しいことは何もありません。		
質問・相談等 の 受 付			

科 目	韓国語Ⅰ（幼児教育学科）	開講時期 履修方法	1年前期 選択、生活の基礎
担当者	中島結菜	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	韓国語の基礎と会話を学んでいく。 本授業は基礎科目の学修成果(1)に対応する。		
到達目標	幼児との会話や日常で使えるような単語や会話の「書く」・「話す」ができる。		
学修成果の 評価基準	試験 50% ミニテスト10% 受講態度40%		
	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習 予習・復習	
1.	自己紹介・授業について（流れなど）・韓国語アニメ（幼児向け）視聴	予習：教科書を読んでおく（30分） 復習：今回の内容の復習（30分）	
2.	トピック① 韓国語の字の作りについて 1-1	予習：前回の内容の復習（30分） 復習：今回の内容の復習（30分）	
3.	トピック② 韓国語の字の作りについて 1-2	予習：前回の内容の復習（30分） 復習：今回の内容の復習（30分）	
4.	トピック③ 韓国語の字の作りについて 2-1	予習：前回の内容の復習（30分） 復習：今回の内容の復習（30分）	
5.	トピック④ 韓国語の字の作りについて 2-2	予習：前回の内容の復習（30分） 復習：今回の内容の復習（30分）	
6.	トピック⑤ 韓国語の字の作りについて 3-1(パッチム)	予習：前回の内容の復習（30分） 復習：今回の内容の復習（30分）	
7.	トピック⑥ 韓国語の字の作りについて 3-2(パッチム)	予習：前回の内容の復習（30分） 復習：今回の内容の復習（30分）	
8.	トピック⑦ 韓国語の字の作りについて 4-1	予習：前回の内容の復習（30分） 復習：今回の内容の復習（30分）	
9.	トピック⑧ 韓国語の字の作りについて 4-2	予習：前回の内容の復習（30分） 復習：今回の内容の復習（30分）	
10.	トピック⑨ 韓国の数字、身体の名称、韓国料理	予習：前回の内容の復習（30分） 復習：今回の内容の復習（30分）	
11.	トピック⑩ 持ち物の名称①、持ち物の名称②、自己紹介で使える挨拶文	予習：前回の内容の復習（30分） 復習：今回の内容の復習（30分）	
12.	トピック⑪ 1課 挨拶（1） 自己紹介をして挨拶ができるようになる。	予習：前回の内容の復習（30分） 復習：今回の内容の復習（30分）	
13.	トピック⑫ 1課 挨拶（2） 自己紹介をして挨拶ができるようになる。	予習：前回の内容の復習（30分） 復習：今回の内容の復習（30分）	
14.	トピック⑬ 「トピック①～⑫」までの復習 ＋ 韓国映画視聴	予習：前回の内容の復習（30分） 復習：今回の内容の復習（30分）	
15.	トピック⑭ 学期のまとめ・質問など ＋ 韓国映画視聴	予習：前回の内容の復習（30分） 復習：今回の内容の復習（30分）	
教科書	『開かれた韓国語 入門』、『開かれた韓国語 初級Ⅰ』		
参考書			
学修成果の 評価方法	試験（50%）、ミニテスト（10%）、受講態度（40%）		
特記すべき 事項	授業に積極的に参加することが重要です。 授業をきちんと受けていれば難しいことは何もあります。		
質問・相談等 の 受 付			

科 目	韓国語Ⅱ	開講時期 履修方法	1 年後期 選択、生活の基礎
担当者	中島結菜	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	韓国語の基礎から日常で使える単語や会話の「話す」・「書く」・「聞く」を学ぶ。 本授業は基礎科目の学修成果(1)に対応する。		
到達目標	韓国語を聞き取り、適切な返答ができるようになる。		
学修成果の 評価基準	試験、ミニテスト、受講態度を評価とする。		
	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習	
		予習・復習	
1.	授業について・韓国語ドラマ視聴	予習：教科書を読んでおく（30分） 復習：今回の内容の復習（30分）	
2.	トピック① 韓国語Ⅰの復習Ⅰ	予習：前回の内容の復習（30分） 復習：今回の内容の復習（30分）	
3.	トピック② 2課 日常生活①	予習：前回の内容の復習（30分） 復習：今回の内容の復習（30分）	
4.	トピック③ 2課 日常生活②	予習：前回の内容の復習（30分） 復習：今回の内容の復習（30分）	
5.	トピック④ 3課 日付と曜日①	予習：前回の内容の復習（30分） 復習：今回の内容の復習（30分）	
6.	トピック⑤ 3課 日付と曜日②	予習：前回の内容の復習（30分） 復習：今回の内容の復習（30分）	
7.	トピック⑥ 3課 日付と曜日③	予習：前回の内容の復習（30分） 復習：今回の内容の復習（30分）	
8.	トピック⑦ 「トピック②から⑥」の復習＋単語テスト	予習：前回の内容の復習（30分） 復習：今回の内容の復習（30分）	
9.	トピック⑧ 4課 位置①	予習：前回の内容の復習（30分） 復習：今回の内容の復習（30分）	
10.	トピック⑨ 4課 位置②	予習：前回の内容の復習（30分） 復習：今回の内容の復習（30分）	
11.	トピック⑩ 5課 日課①	予習：前回の内容の復習（30分） 復習：今回の内容の復習（30分）	
12.	トピック⑪ 5課 日課②	予習：前回の内容の復習（30分） 復習：今回の内容の復習（30分）	
13.	トピック⑫ 5課 日課③	予習：前回の内容の復習（30分） 復習：今回の内容の復習（30分）	
14.	トピック⑬ 「トピック⑧から⑫」の復習＋単語テスト	予習：前回の内容の復習（30分） 復習：今回の内容の復習（30分）	
15.	トピック⑭ 学期のまとめ・質問など ＋ 韓国映画視聴	予習：前回の内容の復習（30分） 復習：今回の内容の復習（30分）	
教科書	『開かれた韓国語 入門』、『開かれた韓国語 初級Ⅰ』		
参考書	なし		
学修成果の 評価方法	試験（50％）、ミニテスト（10％）、受講態度（40％）		
特記すべき 事項	授業に積極的に参加することが重要です。たくさん会話の練習をしましょう。 授業をきちんと受けていれば難しいことは何もありません。		
質問・相談等 の 受 付			

科 目	韓国語Ⅱ（幼児教育学科）	開講時期 履修方法	1年後期 選択、生活の基礎
担当者	中島結菜	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	韓国語の基礎と会話を学んでいく。 本授業は基礎科目の学修成果(1)に対応する。		
到達目標	幼児との会話や日常で使えるような単語や会話の「書く」・「話す」ができる。		
学修成果の 評価基準	試験４０％ 受講態度４０％ ミニテスト２０％		
	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習 予習・復習	
1.	授業について・韓国映画視聴	予習：教科書を読んでおく（30分） 復習：今回の内容の復習（30分）	
2.	トピック① 韓国語Ⅰの復習①	予習：前回の内容の復習（30分）	
3.	トピック② 韓国語Ⅰの復習②	予習：前回の内容の復習（30分） 復習：今回の内容の復習（30分）	
4.	トピック③ 2課 日常生活①	予習：前回の内容の復習（30分） 復習：今回の内容の復習（30分）	
5.	トピック④ 2課 日常生活②	予習：前回の内容の復習（30分） 復習：今回の内容の復習（30分）	
6.	トピック⑤ 2課 日常生活③	予習：前回の内容の復習（30分） 復習：今回の内容の復習（30分）	
7.	トピック⑥ 2課 日常生活④	予習：前回の内容の復習（30分） 復習：今回の内容の復習（30分）	
8.	トピック⑦ 2課の復習 ※時間が余れば韓国映画の視聴	予習：前回の内容の復習（30分） 復習：今回の内容の復習（30分）	
9.	トピック⑧ 3課 日付と曜日①	予習：前回の内容の復習（30分） 復習：今回の内容の復習（30分）	
10.	トピック⑨ 3課 日付と曜日②	予習：前回の内容の復習（30分） 復習：今回の内容の復習（30分）	
11.	トピック⑩ 3課 日付と曜日③	予習：前回の内容の復習（30分） 復習：今回の内容の復習（30分）	
12.	トピック⑪ 3課 日付と曜日④	予習：前回の内容の復習（30分） 復習：今回の内容の復習（30分）	
13.	トピック⑫ 3課 日付と曜日⑤	予習：前回の内容の復習（30分） 復習：今回の内容の復習（30分）	
14.	トピック⑬ 3課の復習 ※時間が余れば韓国映画の視聴	予習：前回の内容の復習（30分） 復習：今回の内容の復習（30分）	
15.	トピック⑭ 学期のまとめ・質問など ＋ 韓国映画の視聴	予習：前回の内容の復習（30分） 復習：今回の内容の復習（30分）	
教科書	『開かれた韓国語 入門』、『開かれた韓国語 初級Ⅰ』		
参考書	なし		
学修成果の 評価方法	試験（40％）、受講態度（40％）、ミニテスト（20％）		
特記すべき 事項	授業に積極的に参加することが重要です。 授業をきちんと受けていれば難しいことは何もありません。		
質問・相談等 の 受 付			

科 目	保健体育	開講時期 履修方法	1 年後期 選択、生活の基礎
担当者	永山 寛	授業形態 単位数	講義 1単位
授業概要	年齢や体力、目的に応じて主体的に運動やスポーツに親しむことは、明るく元気でいきいきとした生活を送るうえで大変重要である。本授業では運動やスポーツに親しみ、体を動かすという人間の本源的な欲求の充足や、爽快感、達成感、他者との連帯感等、精神的な充足、体力の向上・ストレスの発散・生活習慣病の予防など、心身両面にわたる健康の保持増進を図るための理論を中心に学ぶ。 本授業は基礎科目の学修成果(2)に対応する。		
到達目標	自己の身体や体力・運動能力の状況を知り、生涯を通じて主体的かつ継続的な運動・スポーツを実践あるいは支援することに結び付けられるようになる。また、運動やスポーツを通して身に付けた応用力をこれからの社会生活に活用することができる。		
学修成果の 評価基準	授業成績は、授業への取り組み態度（主体性やグループワークなど）、知識・技能の確認小テストおよびレポート提出等により総合評価し、総合評価が60%以上で合格（C判定以上）となる。		
	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）		授業時間外学習
			予習・復習
1.	オリエンテーション（授業内容についての説明）		予習：シラバスを読み授業準備をする（30分） 復習：授業内容を振り返る（30分）
2.	身体活動・運動・（保健）体育・（競技・生涯・障害）スポーツとは		予習：用語の違いについて考える（30分） 復習：授業内容を振り返る（30分）
3.	健康づくりと運動処方		予習：運動の効果と方法とについて考える（30分） 復習：授業内容を振り返る（30分）
4.	体力・運動能力について①（理論）		予習：体力・運動能力の要素について調べる（30分） 復習：授業内容を振り返る（30分）
5.	体力・運動能力について②（実践）		予習：体力・運動能力の要素について調べる（30分） 復習：授業内容を振り返る（30分）
6.	体力・運動能力について③（測定結果の振り返り）		予習：自己の身体について考える（30分） 復習：授業内容を振り返る（30分）
7.	継続的な身体活動について		予習：これからの生活について考える（30分） 復習：授業内容を振り返る（30分）
8.	季節に応じた運動と安全管理について		予習：安全管理と処置について考える（30分） 復習：授業内容を振り返る（30分）
9.			
10.			
11.			
12.			
13.			
14.			
15.			
教科書	使用しない		
参考書	適宜、資料等を配布する		
学修成果の 評価方法	受講態度（40%）、授業内課題（30%）、小テストおよびレポート（30%） ※レポート等はフィードバックしたうえで返却するが、念のためコピーをとっておくこと		
特記すべき 事 項	授業内容は状況に応じて変更する場合があります 前期「体育実技」も併せて履修することを推奨します		
質問・相談等 の 受 付	質問、相談については、授業前後に授業場所および研究室にて受け付ける		

科 目	保健体育（幼児教育学科）	開講時期 履修方法	1 年前期 選択、生活の基礎
担当者	永山 寛	授業形態 単位数	講義 1単位
授業概要	年齢や体力、目的に応じて主体的に運動やスポーツに親しむことは、明るく元気でいきいきとした生活を送るうえで大変重要である。本授業では運動やスポーツに親しみ、体を動かすという人間の本源的な欲求の充足や、爽快感、達成感、他者との連帯感等、精神的な充足、体力の向上・ストレスの発散・生活習慣病の予防など、心身両面にわたる健康の保持増進を図るための理論を中心に学ぶ。 本授業は基礎科目の学修成果(2)に対応する。		
到達目標	自己の身体や体力・運動能力の状況を知り、生涯を通じて主体的かつ継続的な運動・スポーツを実践あるいは支援することに結び付けられるようになる。また、運動やスポーツを通して身に付けた応用力をこれからの社会生活に活用することができる。		
学修成果の 評価基準	授業成績は、授業への取り組み態度（主体性やグループワークなど）、知識・技能の確認小テストおよびレポート提出等により総合評価し、総合評価が60%以上で合格（C判定以上）となる。		
	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習 予習・復習	
1.	オリエンテーション（授業内容についての説明）	予習：シラバスを読み授業準備をする（30分） 復習：授業内容を振り返る（30分）	
2.	身体活動・運動・（保健）体育・（競技・生涯・障害）スポーツとは	予習：用語の違いについて考える（30分） 復習：授業内容を振り返る（30分）	
3.	屋外で身体を動かす意義とは	予習：屋外運動の意義について考える（30分） 復習：授業内容を振り返る（30分）	
4.	体力・運動能力について①（理論）	予習：体力・運動能力の要素について調べる（30分） 復習：授業内容を振り返る（30分）	
5.	体力・運動能力について②（実践）	予習：体力・運動能力の要素について調べる（30分） 復習：授業内容を振り返る（30分）	
6.	体力・運動能力について③（測定結果の振り返り）	予習：自己の身体について考える（30分） 復習：授業内容を振り返る（30分）	
7.	継続的な身体活動について	予習：これからの生活について考える（30分） 復習：授業内容を振り返る（30分）	
8.	季節に応じた運動と安全管理について	予習：安全管理と処置について考える（30分） 復習：授業内容を振り返る（30分）	
9.			
10.			
11.			
12.			
13.			
14.			
15.			
教科書	使用しない		
参考書	適宜、資料等を配布する		
学修成果の 評価方法	受講態度（40%）、授業内課題（30%）、小テストおよびレポート（30%） レポート等はフィードバックしたうえで返却するが、念のためコピーをとっておくこと		
特記すべき 事項	授業内容は状況に応じて変更する場合があります。		
質問・相談等 の 受 付	質問、相談については、授業前後に授業場所および研究室にて受け付ける。		

科 目	体育実技	開講時期 履修方法	1 年前期 選択、生活の基礎
担当者	永山 寛	授業形態 単位数	実技 1単位
授業概要	年齢や体力、目的に応じて主体的に運動やスポーツに親しむことは、明るく元気でいきいきとした生活を送るうえで大変重要である。本授業では実践を通して運動やスポーツに親しみ、体を動かすという人間の本源的な欲求の充足を図る。また爽快感や達成感、他者との連帯感等、精神的な充足も図る。更には、体力の向上・ストレスの発散・生活習慣病の予防など、心身両面にわたる健康の保持増進を図る。 本授業は基礎科目の学修成果(2)に対応する。		
到達目標	運動・スポーツの意義や役割、効果等について理解する。そのための理論と実践方法、支援方法を中心に学び、生涯を通じて主体的かつ継続的に運動・スポーツが実践あるいは支援できるようになる。種目の技術的な向上よりも、運動・スポーツを通してより良い人間関係の構築を目指す。		
学修成果の 評価基準	授業成績は、授業への取り組み態度（主体性やグループワークなど）、知識・技能の確認小テストおよびレポート提出等により総合評価し、総合評価が60%以上で合格（C判定以上）となる。		
	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）		授業時間外学習 予習・復習
1.	オリエンテーション（授業内容についての説明）		予習：体操やストレッチ等で体調を整える（30分） 復習：授業内容を振り返る（30分）
2.	ベースボール型スポーツ（基本動作）：ソフトボール等		予習：種目について調べる（30分） 復習：授業内容を振り返る（30分）
3.	ベースボール型スポーツ（スキルアップ）：ソフトボール等		予習：ルールを把握する（30分） 復習：授業内容を振り返る（30分）
4.	ベースボール型スポーツ（ゲーム）：ソフトボール等		予習：技術や戦術を考える（30分） 復習：授業内容を振り返る（30分）
5.	ラケット型スポーツ（基本動作）：バドミントン等		予習：種目について調べる（30分） 復習：授業内容を振り返る（30分）
6.	ラケット型スポーツ（スキルアップ）：バドミントン等		予習：ルールを把握する（30分） 復習：授業内容を振り返る（30分）
7.	ラケット型スポーツ（基本動作）：卓球等		予習：種目について調べる（30分） 復習：授業内容を振り返る（30分）
8.	ラケット型スポーツ（スキルアップ）：卓球等		予習：ルールを把握する（30分） 復習：授業内容を振り返る（30分）
9.	ラケット型スポーツ（ゲーム）：バドミントン・卓球等		予習：技術や戦術を考える（30分） 復習：授業内容を振り返る（30分）
10.	ネット型スポーツ（基本動作）：バレーボール等		予習：種目について調べる（30分） 復習：授業内容を振り返る（30分）
11.	ネット型スポーツ（スキルアップ）：バレーボール等		予習：ルールを把握する（30分） 復習：授業内容を振り返る（30分）
12.	ネット型スポーツ（ゲーム）：バレーボール等		予習：技術や戦術を考える（30分） 復習：授業内容を振り返る（30分）
13.	ゴール型スポーツ（基本動作）：バスケットボール等		予習：種目について調べる（30分） 復習：授業内容を振り返る（30分）
14.	ゴール型スポーツ（スキルアップ）：バスケットボール等		予習：ルールを把握する（30分） 復習：授業内容を振り返る（30分）
15.	ゴール型スポーツ（ゲーム）：バスケットボール等		予習：技術や戦術を考える（30分） 復習：授業内容を振り返る（30分）
教科書	なし		
参考書	適宜、資料を配布する		
学修成果の 評価方法	受講態度（60%）、ルール理解（20%）、技能およびレポート課題（20%） ※レポート等はフィードバックしたうえで返却するが、念のためコピーをとっておくこと		
特記すべき 事項	運動できる服装（ジャージが望ましい）と室内・屋外シューズの準備 授業内容は状況に応じて変更する場合があります		
質問・相談等 の 受 付	質問、相談については、授業前後に授業場所あるいは研究室にて受け付ける		

科 目	体育実技（幼児教育学科）	開講時期 履修方法	1 年後期 選択、生活の基礎
担当者	永山 寛・橋本真理子	授業形態 単位数	実技 1単位
授業概要	運動やスポーツに親しみ、体を動かすという人間の本源的な欲求の充足を図るとともに、爽快感や達成感、他者との連帯感等、精神的な充足も図る。また、体力の向上・ストレスの発散・生活習慣病の予防など、心身両面にわたる健康の保持増進を図る。併せて、子どもとの関わりにつながる運動実践について学ぶ。 本授業は基礎科目の学修成果(2)に対応する。		
到達目標	運動・スポーツの意義や役割、効果等について理解することができる。そのための理論と実践方法、支援方法を中心に学び、生涯を通じて主体的かつ継続的に運動・スポーツが実践あるいは支援できるようになる。種目の技術的な向上とともに、運動・スポーツを通してより良い人間関係の構築を目指すようになることができる。		
学修成果の 評価基準	授業成績は、授業への取り組み態度（主体性やグループワークなど）、知識・技能の確認小テストおよびレポート提出等により総合評価し、総合評価が60%以上で合格（C判定以上）となる。		
	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習 予習・復習	
1.	ガイダンス	予習：シラバスを読み授業準備をする（30分） 復習：授業内容を振り返る（30分）	
2.	リズムダンス①（基本動作）	予習：体操やストレッチ等で体調を整える（30分） 復習：授業内容を振り返る（30分）	
3.	リズムダンス②（基本動作）	予習：体操やストレッチ等で体調を整える（30分） 復習：授業内容を振り返る（30分）	
4.	リズムダンス③（応用動作）	予習：体操やストレッチ等で体調を整える（30分） 復習：授業内容を振り返る（30分）	
5.	リズムダンス④（創作）	予習：体操やストレッチ等で体調を整える（30分） 復習：授業内容を振り返る（30分）	
6.	リズムダンス⑤（創作）	予習：体操やストレッチ等で体調を整える（30分） 復習：授業内容を振り返る（30分）	
7.	リズムダンス⑥（発表）	予習：体操やストレッチ等で体調を整える（30分） 復習：授業内容を振り返る（30分）	
8.	リズムダンス⑦（発表）	予習：体操やストレッチ等で体調を整える（30分） 復習：授業内容を振り返る（30分）	
9.	からだ遊び①（移動性・平衡性：鬼ごっこ等）	予習：体操やストレッチ等で体調を整える（30分） 復習：授業内容を振り返る（30分）	
10.	からだ遊び②（移動性・操作性：跳び箱、マット、鉄棒等）	予習：体操やストレッチ等で体調を整える（30分） 復習：授業内容を振り返る（30分）	
11.	からだ遊び③（操作性：ボール、縄、フープ等）	予習：体操やストレッチ等で体調を整える（30分） 復習：授業内容を振り返る（30分）	
12.	集団型スポーツ①：バレーボール導入（ラリー等）	予習：体操やストレッチ等で体調を整える（30分） 復習：授業内容を振り返る（30分）	
13.	集団型スポーツ①：バレーボール	予習：体操やストレッチ等で体調を整える（30分） 復習：授業内容を振り返る（30分）	
14.	集団型スポーツ②：バスケットボール導入（ポートボール）	予習：体操やストレッチ等で体調を整える（30分） 復習：授業内容を振り返る（30分）	
15.	集団型スポーツ②：バスケットボール	予習：体操やストレッチ等で体調を整える（30分） 復習：授業内容を振り返る（30分）	
教科書	なし		
参考書	適宜、資料を配布します		
学修成果の 評価方法	受講態度（60%）、技能およびレポート課題（40%） ※レポート等はフィードバックしたうえで返却するが、念のためコピーをとっておくこと		
特記すべき 事項	安全のため、別途服装等の指定があります。 授業内容は状況に応じて変更する場合があります。		
質問・相談等 の 受 付	質問、相談については、授業前後に授業場所あるいは研究室にて受け付ける。		